

令和7年7月13日（日）施行

第219回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解答

第1問

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	受 取 利 息	15,000	未 収 利 息	15,000
2	クレジット売掛金 支払手数料	485,000 15,000	売 上	500,000
3	当 座 預 金 電子記録債権売却損	95,000 5,000	電 子 記 録 債 権	100,000
4	支 払 リ ー ス 料	200,000	普 通 預 金	200,000
5	備 修 繕 引 当 金 修 繕 費	300,000 400,000 100,000	当 座 預 金	800,000
6	普 通 預 金	50,000	他 店 商 品 券	50,000
7	損 益	825,000	繰越利益剰余金	825,000

第2問

期 首 資 本 金	期 末 売 掛 金	期末繰越利益剰余金	当 期 純 利 益
¥ 887,000	¥ 970,000	¥ 808,000	¥ 385,000

第3問

商 品 有 高 帳

Q 商 品

令 7 年	和 年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
6	1	前月繰越	900	620	558,000				900	620	558,000
	4	青 森	1,500	660	990,000				2,400	645	1,548,000
	6	青 森				150	660	99,000	2,250	644	1,449,000
	9	広 島				1,450	644	933,800	800	644	515,200
	10	広 島	200	644	128,800				1,000	644	644,000
	18	秋 田	1,000	650	650,000				2,000	647	1,294,000
	24	岡 山				1,500	647	970,500	500	647	323,500
	30	次月繰越				500	647	323,500			
			3,600		2,326,800	3,600		2,326,800			

【注】 摘要欄には、取引先を記入すること。ただし、「〇〇株式会社」の株式会社は省略し、「〇〇」でよい。

純 売 上 高	売 上 原 価	売上総利益（粗利益）
¥ 3,450,000	¥ 1,775,500	¥ 1,674,500

第4問

1	2	3
ウ	エ	イ

第5問

精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	397,000			22,000			375,000	
当 座 預 金	330,000						330,000	
電 子 記 録 債 権	230,000						230,000	
売 掛 金	370,000			50,000			320,000	
貸 倒 引 当 金		7,000		4,000				11,000
売買目的有価証券	352,000		28,000				380,000	
繰 越 商 品	275,000		260,000	275,000			260,000	
仮 払 法 人 税 等	75,000			75,000				
備 品	800,000						800,000	
備品減価償却累計額		300,000		100,000				400,000
買 掛 金		248,000						248,000
仮 受 金		50,000	50,000					
借 入 金		500,000						500,000
資 本 金		900,000						900,000
資 本 準 備 金		150,000						150,000
利 益 準 備 金		50,000						50,000
繰越利益剰余金		36,000						36,000
売 上		3,873,000				3,873,000		
受 取 手 数 料		263,000	25,000			238,000		
仕 入	2,277,000		275,000	260,000	2,292,000			
給 料	617,000				617,000			
支 払 家 賃	230,000			45,000	185,000			
水 道 光 熱 費	327,000		12,000		339,000			
消 耗 品 費	82,000			19,000	63,000			
支 払 利 息	15,000		5,000		20,000			
	6,377,000	6,377,000						
雑 (損)			10,000		10,000			
貸倒引当金繰入			4,000		4,000			
減 価 償 却 費			100,000		100,000			
有価証券運用損益				28,000		28,000		
(消 耗 品)			19,000				19,000	
(前 払) 家 賃			45,000				45,000	
(未 払) 利 息				5,000				5,000
(前 受) 手 数 料				25,000				25,000
法 人 税 等			150,000		150,000			
(未 払) 法 人 税 等				75,000				75,000
当期純(利 益)					359,000			359,000
			983,000	983,000	4,139,000	4,139,000	2,759,000	2,759,000

令和7年7月13日（日）施行

第219回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解説

第1問

1. 前期末に見越し計上していた利息の未収分の仕訳

(借) 未 収 利 息	15,000	(貸) 受 取 利 息	15,000
-------------	--------	-------------	--------

再振替仕訳とは、前期末に行った仕訳の逆仕訳を行い、適正な損益計算を行うこと

(借) 受 取 利 息	15,000	(貸) 未 収 利 息	15,000
-------------	--------	-------------	--------

2. クレジットカードによって商品を売り上げた場合には、クレジット売掛金勘定を用いて処理をする。また、クレジット会社に対する手数料は、販売時に認識することとしたため、支払手数料勘定を用いて処理をする。

支払手数料の金額 $¥500,000 \times 3\% = ¥15,000$

クレジット売掛金の金額 $¥500,000 - ¥15,000 = ¥485,000$

3. 電子記録債権の取引銀行への譲渡記録を行った場合には、電子記録債権勘定の減少の処理をする。取引銀行から利息相当額等¥5,000を差し引かれた残額が、当座預金口座へ振り込まれたとあるので、利息相当額等¥5,000は電子記録債権売却損勘定を用いて処理をし、残額¥95,000は当座預金勘定を用いて処理をする。

残額の計算 $電子記録債権 ¥100,000 - 利息相当額等 ¥5,000 = ¥95,000$

4. リース取引には、取引条件によって、ファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に分類される。

オペレーティング・リース取引として、リース料を支払った場合は、賃貸借処理をおこなうため、ファイナンス・リース取引で用いるリース資産勘定やリース負債勘定を用いることはなく、支払リース料勘定（費用）を用いる。

なお、オペレーティング・リース取引での契約締結時、仕訳は行わない。

5. 固定資産の修繕と改良のために支出した金額のうち、資本的支出であるのか収益的支出であるのかによって、会計処理が異なる。

改良のための支出とは、資産の価値の増加や耐用年数の延長を目的で要した部分の金額であり、資本的支出として備品勘定の増加の処理をする。

修繕のための支出については、通常の維持管理や原状を回復する目的で要したと認められる部分の金額については、収益的支出として修繕費勘定を用いて処理をする。なお、修繕のために修繕引当金が設定されている場合は、修繕引当金を超えて支払った支出について、支払い時の修繕費として処理をする。

修繕費勘定を用いて処理をする金額 $修繕のための支出 ¥500,000 - 修繕引当金 ¥400,000 = ¥100,000$

6. 商品を販売したときに受け取っていた地域商工会共通商品券について、地域商工会に代金を請求し、代金が振り込まれた場合には、他店商品券勘定の減少の処理をする。

7. 当期決算において、当期純利益を算定した場合には、損益勘定の借方から繰越利益剰余金勘定の貸方へ振替えの処理をする。

第2問

[売上勘定]

損益勘定への振替え金額 貸方合計¥9,538,000－売上戻り¥263,000
＝損益勘定への振替え金額¥9,275,000（純売上高を意味している）

[仕入勘定]

借方の繰越商品の金額は、期首商品棚卸高をあらわしている。

よって、期首貸借対照表の商品（繰越商品）の金額である。¥442,000

貸方の繰越商品の金額は、期末商品棚卸高をあらわしている。

よって、期末貸借対照表の商品（繰越商品）の金額である。¥535,000

損益勘定への振替え金額 期中総額¥6,550,000＋繰越商品¥442,000＝借方合計¥6,992,000
借方合計¥6,992,000－仕入戻し¥258,000－繰越商品¥535,000
＝損益勘定への振替え金額¥6,199,000（売上原価を意味している）

[損益勘定]

貸方合計 売上勘定からの振替え金額¥9,275,000＋その他収益¥3,133,000＝¥12,408,000

借方金額 仕入勘定からの振替え金額¥6,199,000＋その他費用¥5,824,000＝¥12,023,000

差額 貸方合計¥12,408,000－借方金額¥12,023,000＝当期純利益¥385,000

この金額が繰越利益剰余金への振替え金額となる。

[繰越利益剰余金勘定]

貸方合計 前期繰越¥423,000＋損益勘定からの振替え金額¥385,000＝¥808,000

この金額が次期繰越となり、期末繰越利益剰余金の金額である。

[期首貸借対照表]

商品（繰越商品）の金額 借方合計¥2,046,000－現金¥376,000－売掛金¥428,000
－建物¥800,000＝商品（繰越商品）の金額¥442,000

繰越利益剰余金の金額 繰越利益剰余金勘定の貸方の前期繰越の金額である。¥423,000

資本金の金額 貸方合計¥2,046,000－買掛金¥536,000－借入金¥200,000
－繰越利益剰余金¥423,000
＝期首資本金の金額¥887,000

[資本金勘定]

貸方の前期繰越の金額は、期首資本金の金額である。¥887,000

貸方合計 前期繰越¥887,000＋増資¥213,000＝¥1,100,000

この金額が次期繰越となり、期末資本金の金額である。

[期末貸借対照表]

負債・純資産合計 買掛金¥666,000＋借入金¥300,000＋資本金¥1,100,000
＋繰越利益剰余金¥808,000
＝¥2,874,000

売掛金の金額 負債・純資産合計¥2,874,000は、資産合計と一致する。

資産合計¥2,874,000－現金¥369,000－商品（繰越商品）¥535,000
－建物¥1,000,000
＝期末売掛金の金額¥970,000

第3問

6月1日 前月繰越高 900個 @¥620 ¥558,000

6月4日 掛け仕入

(借) 仕 入	990,000	(貸) 買掛金 (青森)	990,000
---------	---------	--------------	---------

6月6日 掛け返品 (戻し)

(借) 買掛金 (青森)	99,000	(貸) 仕 入	99,000
--------------	--------	---------	--------

6月9日 掛け売上

(借) 売掛金 (広島)	1,740,000	(貸) 売 上	1,740,000
--------------	-----------	---------	-----------

6月10日 掛け返品 (戻り)

(借) 売 上	240,000	(貸) 売掛金 (広島)	240,000
---------	---------	--------------	---------

6月18日 小切手仕入

(借) 仕 入	650,000	(貸) 当 座 預 金	650,000
---------	---------	-------------	---------

6月24日 掛け売上

(借) 売掛金 (岡山)	1,950,000	(貸) 売 上	1,950,000
--------------	-----------	---------	-----------

Q商品の移動平均法による商品有高帳の記入について

6月4日 受入(掛け仕入)	数量 1,500個 @¥660 金額¥990,000
受入後の残高	数量 900個+1,500個=2,400個 金額 ¥558,000+¥990,000=¥1,548,000 単価 ¥1,548,000÷2,400個=@¥645
6月6日 払出(掛け戻し)	数量 150個 @¥660 金額¥99,000
払出後の残高	数量 2,400個-150個=2,250個 金額 ¥1,548,000-¥99,000=¥1,449,000 単価 ¥1,449,000÷2,250個=¥644
6月9日 払出(掛け売上)	数量 1,450個 @¥644 金額¥933,800
払出後の残高	数量 2,250個-1,450個=800個 金額 ¥1,449,000-¥933,800=¥515,200 単価 ¥644
6月10日 受入(掛け戻り)	数量 200個 @¥644 金額¥128,800
受入後の残高	数量 800個+200個=1,000個 金額 ¥515,200+¥128,800=¥644,000 単価 ¥644
6月18日 払出(小切手仕入)	数量 1,000個 @¥650 金額¥650,000
受入後の残高	数量 1,000個+1,000個=2,000個 金額 ¥644,000-¥650,000=¥1,294,000 単価 ¥1,294,000÷2,000個=¥647
6月24日 払出(掛け売上)	数量 1,500個 @¥647 金額¥970,500
返品後の残高	数量 2,000個-1,500個=500個 金額 ¥1,294,000-¥970,500=¥323,500 単価 ¥647

6月分のQ商品の純売上高

$$¥1,740,000(6月9日) + ¥1,950,000(6月24日) - ¥240,000(6月10日) = \underline{¥3,450,000}$$

6月分のQ商品の売上原価 商品有高帳より

$$¥933,800(6月9日) + ¥970,500(6月24日) - ¥128,800(6月10日) = \underline{¥1,775,500}$$

6月分のQ商品の売上総利益(粗利益) 純売上高-売上原価 で求める。

$$¥3,450,000 - ¥1,775,500 = \underline{¥1,674,500}$$

第4問

1. ウ

借方科目	金額	貸方科目	金額
賞与引当金	200,000	普通預金	300,000
賞与	100,000		

上記仕訳は、賞与¥300,000（うち¥200,000は、前期負担分）を普通預金口座から支払ったことを意味している。

前期末に前期負担分を計算した際は、以下のようになる。

借方科目	金額	貸方科目	金額
賞与引当金繰入	200,000	賞与引当金	200,000

2. エ

借方科目	金額	貸方科目	金額
支店	500,000	損益	500,000

上記仕訳は、支店の当期純利益¥500,000を本店が記録したことを意味している。

支店の仕訳は、以下のようになる。

借方科目	金額	貸方科目	金額
損益	500,000	本店	500,000

3. イ

借方科目	金額	貸方科目	金額
未払法人税等	200,000	納税準備金	200,000

確定申告を行い、前期法人税等確定額のうち未払分¥200,000を納税準備金から納付したことを意味している。

前期末に法人税が確定した際の仕訳は、以下のようになる。

借方科目	金額	貸方科目	金額
法人税等	×××	仮払法人税等	□□□
		未払法人税等	200,000

第5問

付記事項

仮受金の処理

(借) 仮受金	50,000	(貸) 売掛金	50,000
---------	--------	---------	--------

決算整理事項

1. 現金の処理

帳簿残高¥397,000

実際有高¥375,000

差額 ¥397,000 - ¥375,000 = ¥22,000

実際有高に合わせるため、現金の帳簿残高を減少させる。

不一致の原因は、水道光熱費の誤記入のため水道光熱費勘定を修正する。

¥86,000 - ¥74,000 = ¥12,000 水道光熱費勘定を増加させる。

残額は原因が判明しなかったため、雑益勘定または雑損勘定を用いて処理をする。

(借) 水道光熱費	12,000	(貸) 現金	22,000
雑損	10,000		

2. 売上原価の算定

(借)	仕 入	275,000	(貸)	繰 越 商 品	275,000
	繰 越 商 品	260,000		仕 入	260,000

3. 貸倒引当金の見積もり

電子記録債権の期末残高 ¥230,000

売掛金の期末残高 ¥370,000 - ¥50,000 (付記事項) = ¥320,000

貸倒引当金の見積もりの金額

(¥230,000 + ¥320,000) × 2% = ¥11,000

貸倒引当金繰入額

¥11,000 - ¥7,000 = ¥4,000

(借)	貸倒引当金繰入	4,000	(貸)	貸 倒 引 当 金	4,000
-----	---------	-------	-----	-----------	-------

4. 備品の減価償却費の計上

¥800,000 ÷ 8 年 = ¥100,000

(借)	減 価 償 却 費	100,000	(貸)	備品減価償却累計額	100,000
-----	-----------	---------	-----	-----------	---------

5. 売買目的有価証券の評価替え

帳簿価額 ¥352,000

評 価 額 ¥380,000

差 額 ¥380,000 - ¥352,000 = ¥28,000 (有価証券運用益となる)

評価額に合わせるため、売買目的有価証券勘定を増加させる。

(借)	売買目的有価証券	28,000	(貸)	有価証券運用損益	28,000
-----	----------	--------	-----	----------	--------

6. 消耗品の未使用高

(借)	消 耗 品	19,000	(貸)	消 耗 品 費	19,000
-----	-------	--------	-----	---------	--------

7. 家賃の前払高 (費用の繰り延べ)

(借)	前 払 家 賃	45,000	(貸)	支 払 家 賃	45,000
-----	---------	--------	-----	---------	--------

8. 利息の未払高 (費用の見越し)

利息の計算 借入金の期末残高 ¥500,000 × 利率年 4% × 3 か月 ÷ 12 か月 = ¥5,000

(借)	支 払 利 息	5,000	(貸)	未 払 利 息	5,000
-----	---------	-------	-----	---------	-------

9. 手数料の前受高 (収益の繰り延べ)

(借)	受 取 手 数 料	25,000	(貸)	前 受 手 数 料	25,000
-----	-----------	--------	-----	-----------	--------

10. 未払法人税等

当期の課税所得 ¥500,000 × 30% = ¥150,000

(借)	法 人 税 等	150,000	(貸)	仮払法人税等	75,000
				未払法人税等	75,000